

2023.1.15

こんにちわ～ると

No.84

半田国際交流協会だより

10月27日

「外国人が住みやすいまちづくり」座談会を開催しました

半田市役所市民協働課との共催で、「外国人が住みやすいまちづくり」をテーマとした座談会を行いました。幼児支援の団体、語学・学習支援をしている教員や団体、外国人を多く雇用している企業、商工会議所、在住外国人が運営している食料支援団体や通訳会社などが集まり、個々が持っている情報や直面している課題を共有しました。

仕事のこと

子どもが熱を出しお迎えを頼むと、仕事を休むとクビになってしまうという話を聞く。(幼児支援の団体)

ブラジル人は派遣の形態で働く人が多い。その多くは3ヶ月契約になるので、子どもの病気や行事で休むと次の更新にひびくという心配をしてしまう。(通訳会社)

傷病手当の申請がやってもらえない。主に派遣会社の担当者にいえることだが、日本語能力の低さと理解不足から、対象外だという間違った情報を出してしまう。派遣会社への働きかけが必要だが、時間がかかる。(通訳会社)

問題があったときには同じ出身国のリーダー的な人が翻訳し、総務に連絡してくれるので対応ができている。意識的にそういう人を採用している。(外国人雇用企業)

学校のこと

子どもたちは学校生活で1~2年たてば日常会話ができるようになるが、勉強となると、小学3年生で同じ学年についていくには5~7年かかるといわれている。8歳よりも前に日本に来た場合、母国語もしっかりできていないため、10年かかるという情報も。話せっていても勉強のケアが必要。(教員)

子どもが日本の学校へ通うと、母国語がうまく話せず、家庭での亀裂が生じることがある。子どもは日本の文化を習得し生活できるが、今度は親や親戚とうまくいかないということが出てくる。(通訳会社)

保護者には、家では必ず母国語を使ってくださいとお願いしている。そうでないと気持ちの部分が育たない。(学習支援団体)

日本語も母国語も話せない子が大人になると、仕事は工場の簡単な作業しかない。大人になってから自分の力で頑張ればいいのだが、小さいときからそういう環境(教育)が必要。(通訳会社)

生活のこと

ブラジルの人は5キロの肉のかたまりを買う。日本人と食生活が全然違う。食べ物に困っている人が市役所に相談するとフードバンクもあると言われるが、もらえるものはおかゆとかワカメとか鯖缶とか食べ慣れないものが多い。豆・肉・スパゲッティーが欲しいからうちに来る。(食料支援団体)



11月10日・24日

半田中学校キャリア学習に参加しました

将来地元で働くことをイメージしてもらうために企画された、半田中学校2年生対象の「キャリア学習」プログラムに当協会も参加しました。半田国際交流協会に興味を持ってくれた学生10名に、私たちの活動紹介や課題について説明し、「日本語が通じない人と同様に生活していくにはどうしたらいいか」「外国人にとって住みやすいまちにするには何が必要か」を考えもらいました。

1日目



2日目



外国人との交流や共生について、約2時間の説明をみんな真剣に聞いていました。「やさしい日本語」の練習もしました。

課題をふまえて、みんなから提案をしてもらいました。「日本の遊びを紹介しながら交流するイベント」「ジェスチャーで交流する方法」「イラストで説明する看板」「QRコードで各言語の翻訳を読み込むシステム」と、中学生の視点で考えてくれました。まず課題を知ってもらえたこと、外国人の立場になって考えてくれたことがよかったです。「将来、日本語教室のボランティアをやりたい」と言ってくれた学生もいました。

19th
こんにちわーるど
フェスティバル

世界の人たちと
あそぼう!

2022
11/20
SUN.

ぼあ + るじ!
Brazil

あいさつしながら
各国のブースを
まわろう!



チアダンス&チアリーディング
(ソシオ成岩スポーツクラブ)

しんちゃお!
Viet Nam



インドネシアの竹製打楽器アンクロン
(LEEOアンクロンチーム)



観客もアンクロン演奏に参加



ブラジルのダンス カリンボ
(カリンボマンゴー)



ベトナムの伝統あそび
「オー アンクアン」の
コーナー



アラブ音楽&ベリーダンス
(Haris)



各ブースのインタビュー



はろ~!
USA



よ~なぱっと!
Hungary



かわいい雑貨や
編み物作品

2022年11月20日（日）、第19回「こんにちわーるどフェスティバル」を雁宿ホール講堂にて開催しました。たくさんの方にご来場いただき、11カ国の交流ブースや、国際色豊かなパフォーマンステージをお楽しみいただきました。



半田市役所 多文化共生コーナーの 相談員さんを紹介します

こんにちわーるど

No.84



フェスティバルでの
外国籍市民向け相談コーナー

こんにちは。私は チャン・ティ・トー と申します。

今回、「こんにちわーるどフェスティバル」に参加させてもらいました。フェスティバルでは、いろいろな国のステージ演奏がありましたが、中でもアンクロンというインドネシアの竹楽器を他の観客の皆さんと一緒に演奏できたのは、とても楽しかったです。ランチには、ネパールのパンを初めて食べたのですが、とても柔らかくておいしく、いつか家族といっしょに食べたいなと思いました。また、「オー アン クアン」というベトナムのゲームを子どもたちが遊んでいて、とても喜んでいたのが印象的でした。

私は、2018年3月に日本に来て、4年半ほど半田に住んでいますので、私にとって半田は第2の故郷です。4年前に半田国際交流協会が主催する日本語教室に参加し、短い間でしたがとても楽しく、勉強になりました。その後、日本語教室のつながりで紹介があり、2020年9月から半田市役所で働き始めました。外国人にとって日本は安全で便利な国ですが、日本語を覚えるのは大変です。私たち相談員がいることを知ってもらって、日本語が話せない人でも気軽に市役所に来てくれるようになるのが私の目標です。「日本語が全然わからないので、トーさんがいてくれてとても助かりました。」など、相談に来てくれた人からお礼を言ってもらえた時、とてもやりがいを感じます。これからも国籍関係なく皆さんを支援できるようがんばりますのでよろしくお願ひいたします。

私は日系ブラジル人の 佐々木 ルシエネ と申します。

高校卒業後、1997年に日本で仕事をするため来日しました。その後、長い間会えなかった家族に会うため、2008年にブラジルへ帰国し、ブラジルの大学を卒業後にまた日本で暮らしたいと思い日本へ戻ってきました。当時、半田国際交流協会の日本語教室に参加し、3年間で他の外国籍市民の方々と一緒に勉強して、日本語だけではなく、いろいろな国の文化に触ることができました。そして、ボランティアの先生たちがいつも暖かく、楽しく、支えてくださいました。とても感謝しております。2020年には、外国籍市民の生活支援を目的としたマンゴーベレンプロジェクトのキャリアアップ講座に参加しました。そこでは履歴書の書き方、面接の仕方などについて多く学び、自信もつけて、昨年の4月から半田市役所の相談員の仕事に就きました。

そして、今回「こんにちわーるどフェスティバル」にはじめて参加させていただきました。皆さん国籍等を問わず一緒にフェスティバルを楽しんでいました。ステージではたくさんのアーティストが演奏し、私も11カ国の人たちと一緒に交流でき、多文化交流をすることができました。

相談員として、まだ必要な学びが多いですが、これからも地区のイベントや行事などに積極的に参加し、半田市の多文化共生をさらに進める力になれたら良いと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

Handa Komaran 多文化共生
(FaceBook)



外国籍市民の方向けに
多言語で情報を伝えます。

- ◆半田市役所 3F 25番窓口 多文化共生コーナー
- ポルトガル語相談員：月～金 9:00～17:00
- ベトナム語相談員：月・金 9:00～17:00
- ※相談員以外にも通訳タブレットを使って14言語で相談できます。

半田国際交流協会にご入会ください！

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
法人会員(1口 5,000円)		
・従業員数 1名～29名	1口以上	
・従業員数 30名～49名	2口以上	
・従業員数 50名～	4口以上	

申込先：半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992
E-mail:hia@poplar.ocn.ne.jp
HP:<http://www.handakokusai.aichi.jp>

12月11日 日本語教室で防災勉強会を開催しました

半田市役所防災安全課に出前講座を依頼し、地震の際にまずどうしたらいいか、またハザードマップの見方や災害に関する単語などを、おしえてもらいました。



以前、当協会の日本語教室でボランティアをしていた職員の方が、やさしい日本語で説明してくれました。



発行／半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992